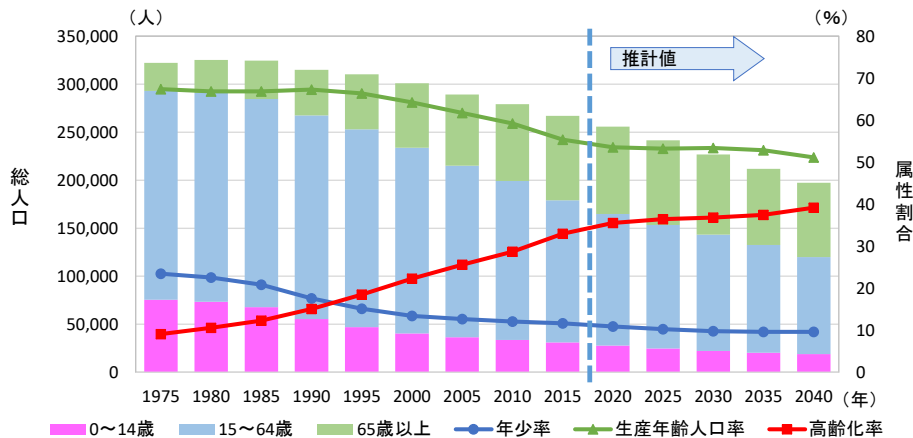


第3章 下関市の交通を取り巻く状況

ア. 人口減少と高齢化のさらなる進行

●人口推移

総人口は1980年をピークに減少傾向に転じており、将来では更に著しく減少していくものと予測されています。年少率、生産年齢人口率、高齢化率に関しては、1995年以降、高齢化率が年少率を上回っており、今後も上昇すると予測されています。

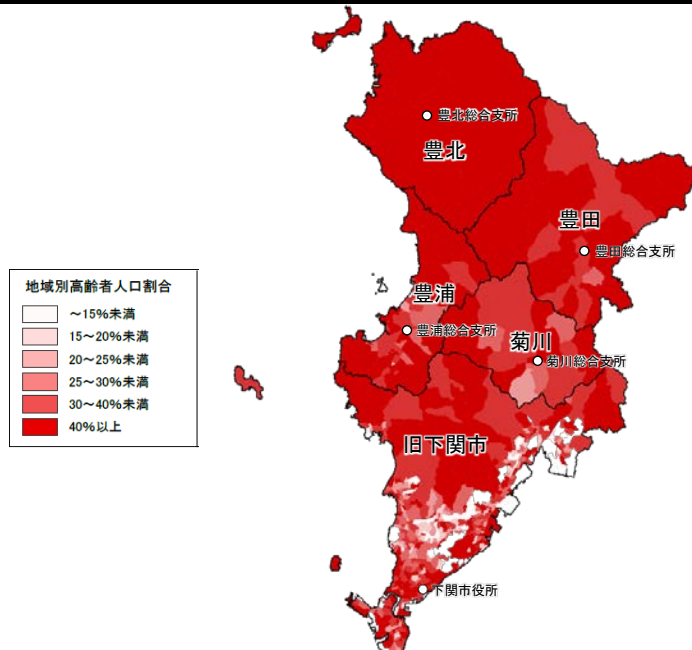


資料：2015年まで→下関市「統計しものせき(地区別)」、
2015年以降→推計値は国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口』(平成25(2013)年3月推計)

図 3.1 下関市の人口推移

●高齢者人口割合

主に郊外地域で高齢化が進行しており、特に豊北地域においては全域にわたり高齢化率が40%以上となっています。



資料：H27 国勢調査

図 3.2 高齢者人口割合

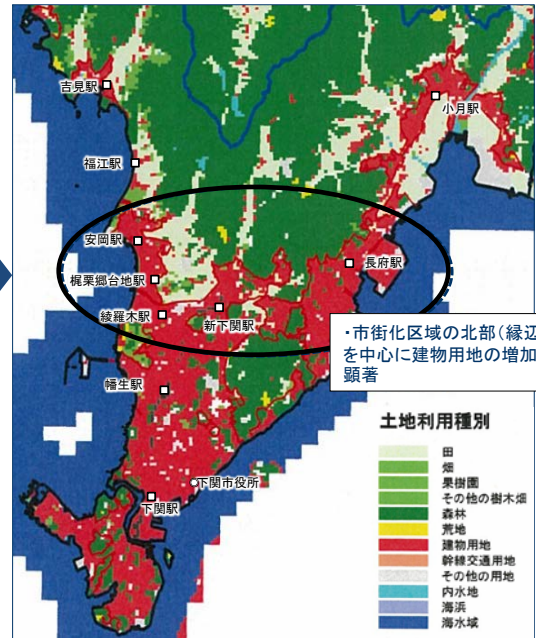
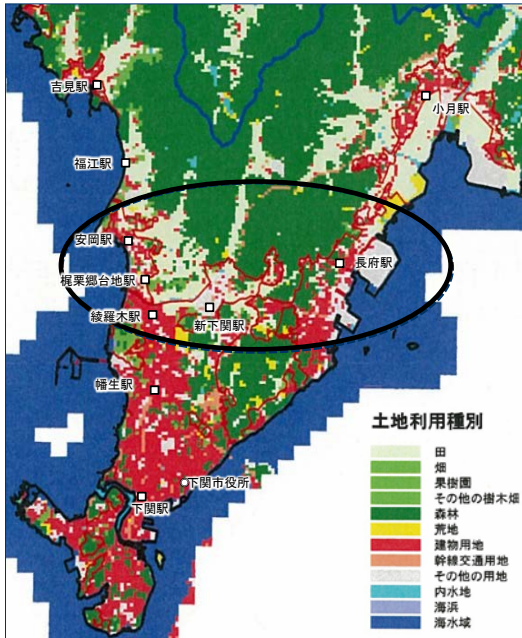
イ. 市街地の拡大と低密度化

●市街地が拡大

昭和 62 年から平成 21 年にかけて、市街化区域の北部である新下関駅や長府駅を中心に、森林や田畑から建物用地への転用が多く、市街地が拡大しています。

■S62 (1987 年)

■H21 (2009 年)



資料:H27 土地利用等調査分析業務

図 3.3 土地利用種別の変化

●市全体が低密度化

市全体として人口減少の傾向にあり、特に、郊外部を中心に今後も人口の低密度化が進行していくことが予測されています。

■2005 年 : 290,693 人

■2010 年 : 280,947 人

■2040 年 : 191,034 人

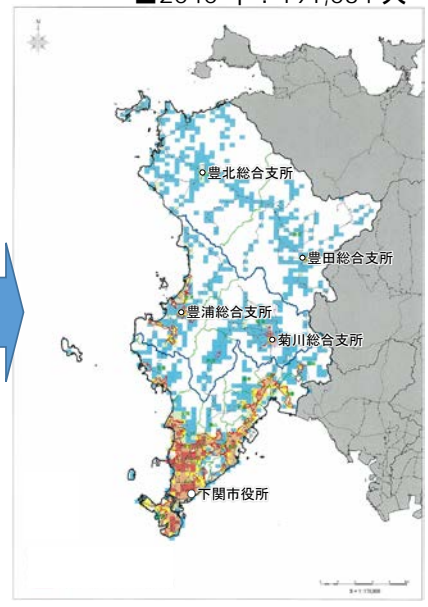
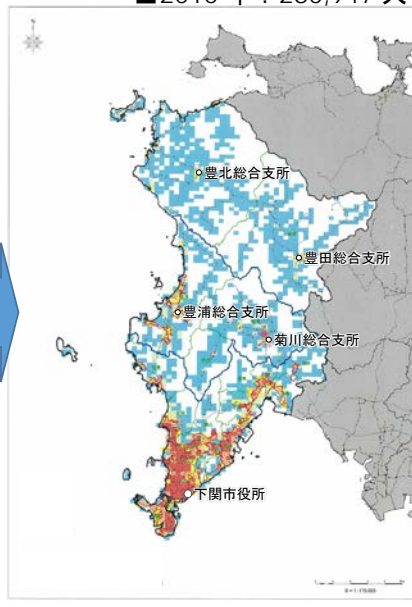
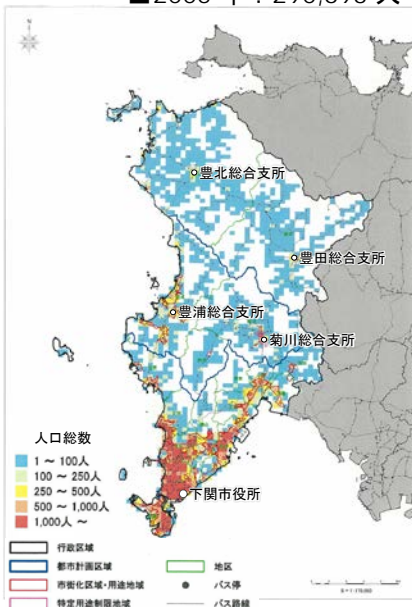


図 3.4 将来予測に基づく人口分布

資料:H27 土地利用等調査分析業務

●市街地中心部で多い空き家

市街化区域内で多数の空き家が分布しており、特に中心部で著しく多くなっています。

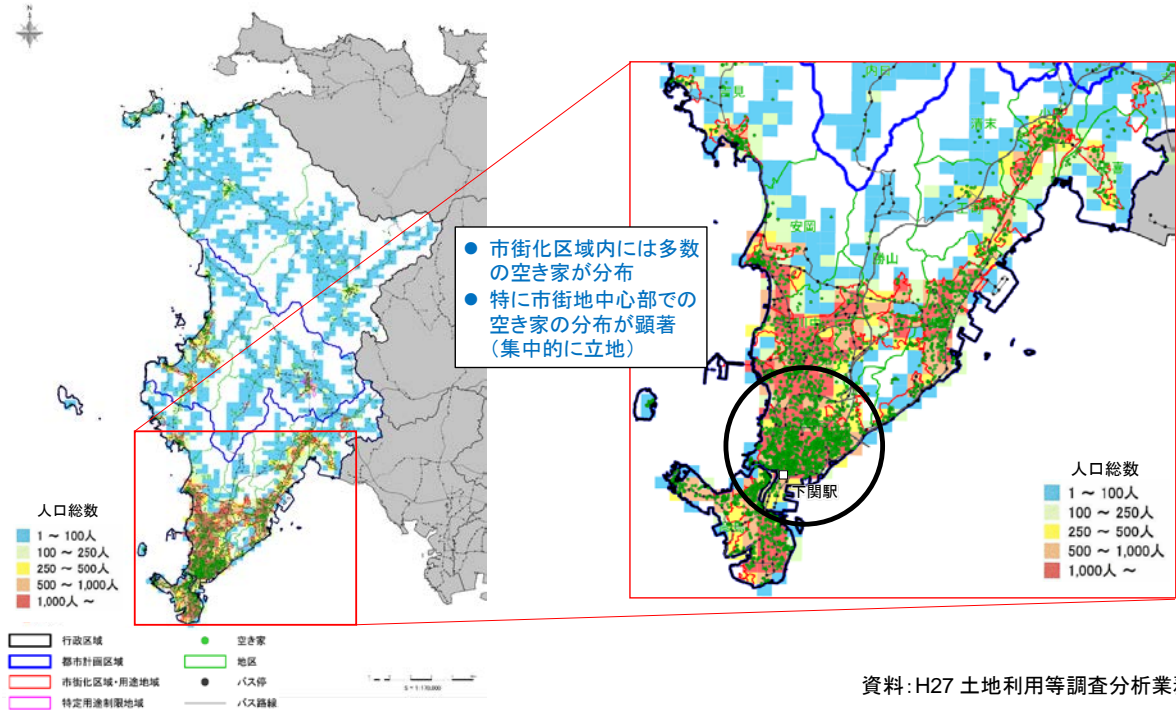
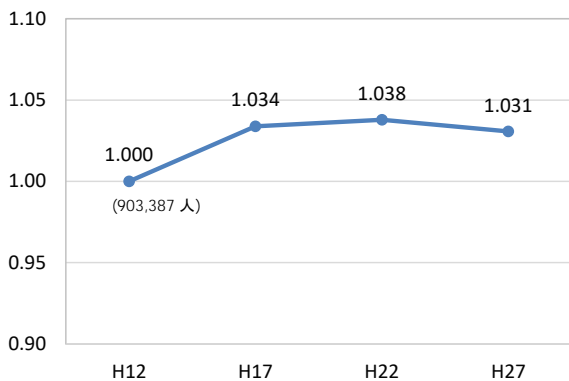


図 3.5 空き家の分布

ウ. 自動車依存傾向の進展

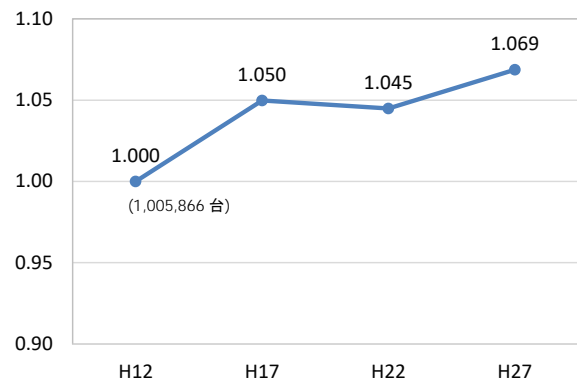
●自動車利用環境

運転免許保有者数は平成22年までは増加傾向にありますが、平成27年にはほぼ横ばいとなっています。一方で、自動車保有台数は、平成12年から平成27年にかけて増加傾向にあります。これらを勘案すると、今後も自動車の依存傾向は高くなる可能性があります。



資料：山口県警察

図 3.6 運転免許保有者数(H12年比)の推移



資料：山口県勢要覧

図 3.7 自動車保有台数(H12年比)の推移

●自動車交通量の変化

1日の各道路の交通量をみると、県道57号下関港線や県道39号栗野二見線は減少傾向にあり、その他の道路では横ばいの傾向にあります。

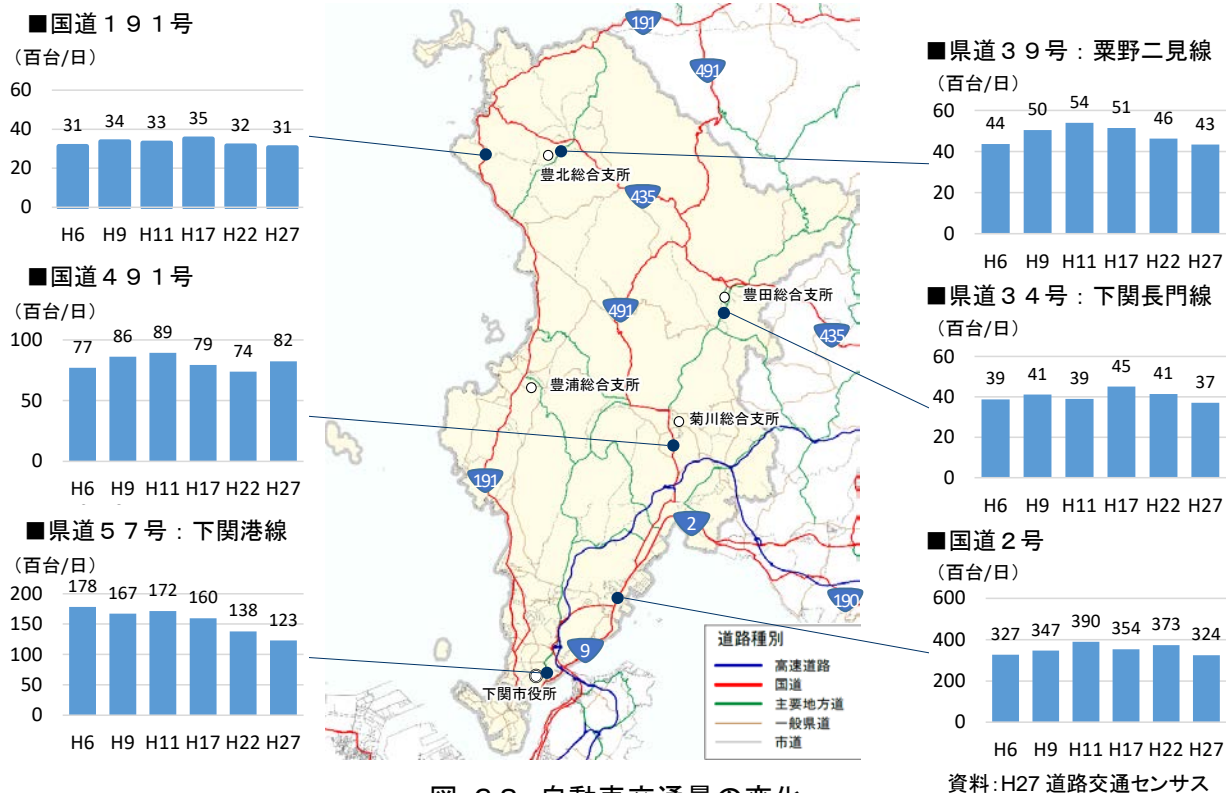


図 3.8 自動車交通量の変化

●増加傾向にある高齢者の自動車免許証の返納

山口県内の高齢者（65歳以上）の免許証の返納件数は、近年特に増加傾向にあり、平成25年から平成27年にかけて約1,500件増加しています。

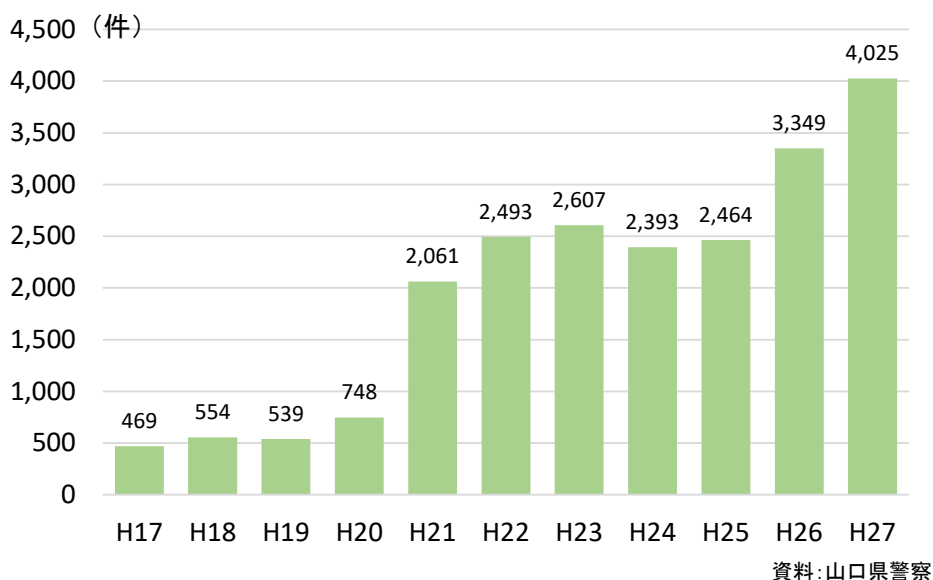


図 3.9 山口県内の高齢者免許証返納件数の推移

エ. 観光客受入態勢強化の必要性

● 下関市内の主要観光施設

本市は観光客数 1000 万人、宿泊客数 100 万人を目標に掲げ、様々な取り組みを実施しています。また、近年では、東アジアのクルーズ需要の高まりを背景に、下関への外国クルーズ客船の寄港が大幅に増加しています。

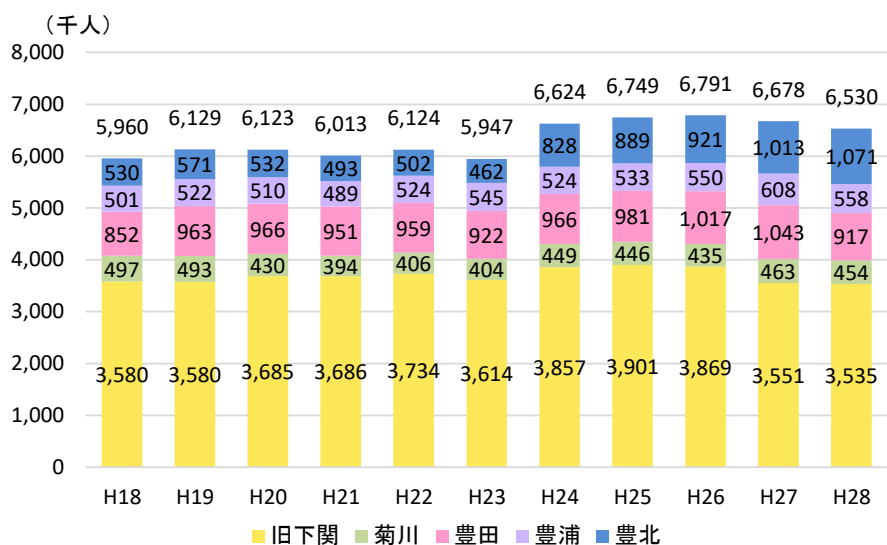
市内の観光資源については、市全域に点在しており、特に中心市街地では市立しものせき水族館海響館や唐戸市場・カモンワーフなどを中心に観光資源が立地しています。



図 3.10 市内観光施設

●観光客数の推移

旧4町(菊川地域、豊田地域、豊浦地域、豊北地域)において、平成24年以降観光客数が概ね増加傾向にあります。



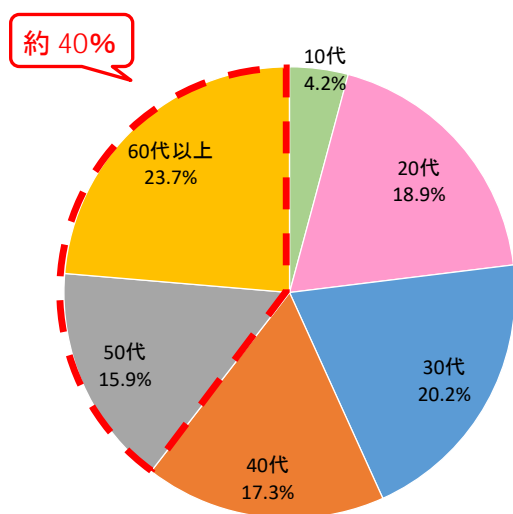
資料：下関市 HP「平成28年の下関市観光客数・宿泊客数について」

図 3.11 下関市内の観光客数の推移

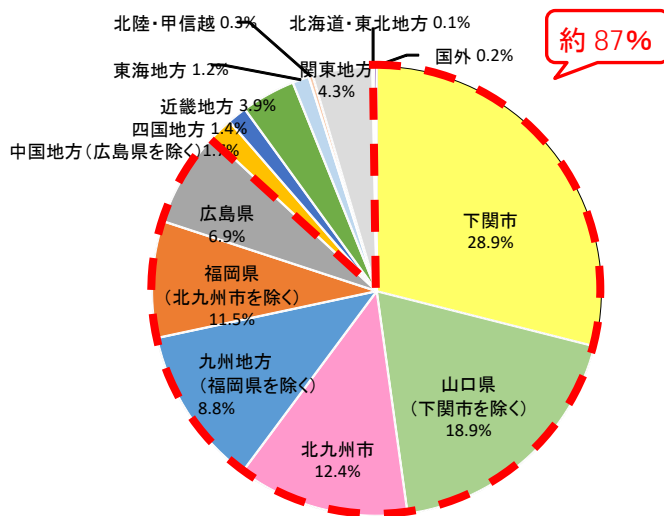
●下関市を訪れる観光客の属性

本市を訪れる観光客は、60代以上が最も多く、50代を合わせると全体の約40%を占めています。また、日帰り圏内と考えられる中国・九州地方から来られる観光客が約87%となっています。

【年代】



【居住地】

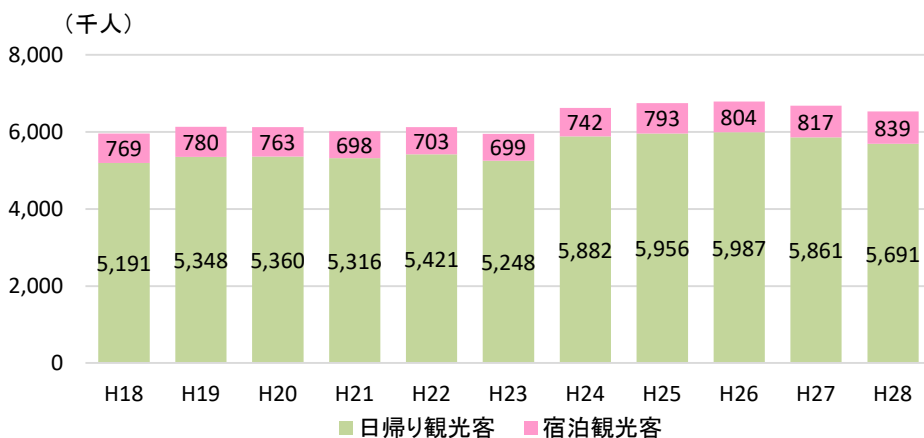


資料：下関市観光動態調査報告書 (H29.9)

図 3.12 下関市を訪れる観光客の属性

●日帰り観光客・宿泊観光客の推移

宿泊観光客よりも日帰り観光客の方が非常に多くなっており、日帰り観光客数は減少傾向ですが、宿泊観光客数は増加傾向にあります。



資料: 下関市 HP「平成 28 年の下関市観光客数・宿泊客数について」

図 3.13 下関市内の日帰り観光客・宿泊観光客数の推移

●サイクル県やまぐち Project

山口県はどの都道府県よりも幅広いジャンルで総合的にサイクリスポーツ振興に取り組むことにより、交流人口の増加を目指しており、本市においても県と連携し、自転車を利用した観光推進を図っています。



図 3.14 サイクルエイドのロゴマーク



資料: 「サイクル県やまぐち Project」(HP)

図 3.15 山口県内のサイクルコース